

配送スタッフの「現場の声！」

ふたつの“R”ができること

Radicleの会首都圏支部 株式会社グリフィス編

「届ける人、伝える人」の集まりRadicleの会（らでいっしゅぼーや配送法人の団体）と「作る人」の集まりであるRadixの会。Radix News Letterを通じそれぞれの「現場の声」をご紹介します。そこから「ふたつのR」ができることを模索していきたい。配送スタッフのみなさんに、日ごろ見聞きしていることを語っていただきました。

Report

宮崎創太さん

配送担当地区：
東京都北区・板橋区、埼玉県さいたま市・川口市

好きならでいっしゅ

商品：芽吹き屋の三色だんご、即席麺自信作（みそ味）



込んでしまったり、会員さんのお子さんがトラックに入って資材の片付けを手伝ってくれたり毎日楽しく配送しています。

夏場に多く耳にするのは、野菜の傷みです。そんな時は自然と会話も湿りがちになり「今日の野菜は大丈夫かな…」と心配になります。そのようなこともあれば、またあるときは会員（88年会員）さんから「以前は虫食いがひどく食べられないことも多かったけれど最近は野菜も良くなり毎週楽しみにしています」と言われることもありました。「らでいっしゅの野菜や商品はスーパーのものとは比べものにならないくらいおいしいのだから、少しくらい形や見てくれは悪くてもどどんぱれっとに入れて欲しい」と言っていました。

■野菜+生産者の苦勞の値段

以前は「農家は体力勝負の仕事だ」と思っていたのですが、最近はそのに加えて

「知力や才能も必要とされる」仕事なのだと感じています。天候・害虫・病気などに左右され、しまいには、消費者にうれしい・おいしくないなどの評価をされてしまう、これは誰にでもできる仕事ではありません。ある会員さんが言っていました、「らでいっしゅぼーやの野菜の値段は、野菜+農家の苦勞の値段だと思うので私は高く感じない、むしろ感謝しています」と。これからも、みなさんの作ってくれた野菜や商品を大事に運んでいきますので、みなさんも頑張ってください。

らでいっしゅの会員さんからの質問です

- ① これからの農業はどうなるの？
 - ② 後継者はいるの？
 - ③ 現在人手は足りているの？
 - ④ 機械化はどこまで進むの？
 - ⑤ 農業で楽しいこと、苦しいことは？
- たくさんのご返答をお待ちしています

■虫食いの野菜はだいぶ少なくなっている

生産者・メーカーのみなさん、暑い中お仕事おつかれさまです。今年の暑さは厳しいですが、配送スタッフの私たちもみなさんの作ってくれた商品を頑張ってお届けしています。

配送を始めて3年半です。始めた当初からずっとお届けしている会員さんもあり、時には配送を忘れてしまうほど話し

大野聡一朗さん

配送担当地区：
埼玉県北部、群馬県南部

好きならでいっしゅ

商品：地球まるごとごっくんプリン



う話をよく聞きます。残念ながら僕たちは詳しくないので適切な返答ができずにいます。そこで「生産者が教える簡単な家庭菜園で作れる無農薬野菜」というような特集をして、月に1度野菜一品を「お話しサラダ」に掲載するなどしてもらえたら、もっと会員さんも興味を持っていろいろと野菜作りにチャレンジ出来るのではないのでしょうか。実際、僕たちも簡単な野菜からでもいいので栽培し、自分たちで愛情込めて作った野菜を食べ、生産者さんと同じ喜びを実感してみたいのですから。また「ぱれっとの野菜の残りを植えて増やし、ご近所に配るくらい栽培している」という会員さんもいます。料理のレシピ以外でも残り物利用法の紹介などもあれば良い参考になるのではないのでしょうか。その他「ぱれっとの中身の珍しい野菜をぱれっとオプションの“旬の野菜”として一部加えて欲しい」という声もありました。

■いろいろな「つくる人」との交流を

先日トマト狩りの交流会に参加した際に、生産者さんが、農薬の成分の詳しい説明をしてくださり、参加者のみなさんに

たいへん喜んでもらえました。普段知ることができないことを知り接することができるよい機会でした。現在は収穫体験が主ですが、「元気くん」で取り扱うお豆腐や牛乳などの交流会や、お子さんがメインの交流会なんかもいいのではないのでしょうか？家庭のガーデニング感覚で加工品を親子で作る楽しみや、食べて満足する喜びを味わうことは素晴らしい教育になると思うし、親子の絆も深まり、土に触れる機会の少ない現代の子どもたちにとっては、またとない体験が交流会を通してでき、よい思い出、財産になるはずですよ。

らでいっしゅの会員さんは、ただの消費者ではありません。一人一人が関心を持ち、時には心配し、励ましてくれるという、消費者と生産者との関係はとても良いものです。このような関係を支えているらでいっしゅぼーやは、スタッフ個々の活躍によって成り立つとても良い団体だと思います。そして、生産者をはじめ会員さんに毎日お届けしている僕たち配送員は、その一員としてとても誇りに思っています。

■野菜についてもっと知りたい

「家庭菜園をしているので無農薬・有機栽培の方法をアドバイスして欲しい」とい